

英語コーチング「TORAIZ（トライズ）」

研修設計の世界的権威 M・デイビッド・メリル氏が TORAIZ 語学研究所のフェローに就任

トライオン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三木雄信）が運営する英語コーチング・プログラムの研究機関「TORAIZ 語学研究所」は、2022 年 3 月 20 日付で、研修設計の世界的権威であり、学習を効率的にデザインするための方法論「インストラクショナルデザイン」についての「メリルの第一原理」で知られるユタ州立大学名誉教授の M・デイビッド・メリル氏がフェローに就任したことをお知らせします。

TORAIZ は、ゴールから逆算した学習設計とコーチング型の個別指導により 1 年間でグローバルビジネスに必要な英語を話す力（VERSANT※47 点相当）を身につける英語学習プログラムです。メリル教授には、インストラクショナルデザインに基づく TORAIZ のプログラムへのアドバイスやセミナーの登壇、法人の研修コンサルティングへのアドバイス、研修プロジェクトなどにご参加いただきます。

TORAIZ は今後も、実践的な英語力の習得を目指して「第二言語習得理論」や「インストラクショナルデザイン」など理論的な裏付けがある英語学習プログラムの提供を通じて、グローバルな活躍ができる人材の育成を推進します。

※VERSANT: イギリスの教育大手ピアソン社が全世界向けに販売している英語のスピーキングテスト。20 点～ 80 点で評価され、日本人の平均は 38 点（2018 ピアソン調べ）。



■プロフィール

ユタ州立大学名誉教授

M. David Merrill

イリノイ大学にて博士号を取得後、50 年以上にわたりインストラクショナルデザイン理論の研究にあたっている。

2001 年には AECT（Association for Educational Communications and Technology）米国教育コミュニケーション工学会にてサービスアワードを受賞。インストラクショナルデザインを集大成した世界的権威。

「メリルの第一原理」で知られる。

<https://mdavidmerrill.wordpress.com/my-professional-history/>

【TORAIZ 語学研究所について】

実践的な英語力の習得を目指し第二言語習得論に加え、学習デザイン理論「インストラクショナルデザイン」の概念を基にした学習構造を構築。実践から獲得した英語学習のノウハウを共有し、さらに効率よく英語を学習できる環境を整えるとともに、TORAIZ のプログラムにも反映させています。

日本第二言語習得学会（The Japan Second Language Association: 略称 J-SLA）に所属し、2021 年 10 月に開催された「第 21 回日本第二言語習得学会国際年次大会（J-SLA2021）」にて TORAIZ の 1 年間のプログラムを修了した 570 名の学習データを分析した「The more specific the goal the better the improvement in second language speaking proficiency（英語学習におけるスピーキング力向上のための具体的なゴール設定の重要性）」を発表。

<TORAIZ 語学研究所メンバー>

■フェロー 新崎隆子 先生

神戸大学文学部卒業。青山学院大学大学院国際政治経済学研究科博士課程修了。研究分野は異文化コミュニケーション、通訳学など。公立高校の英語教員を務めたのち、国際会議や NHK 放送で通訳者として活躍。



■フェロー 門田修平 先生

関西学院大学法学部教授、関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科教授。博士（応用言語学）。専門分野は心理言語学、応用言語学、第二言語習得など。特に第二言語としての英語の知覚・処理そして記憶・学習の心的メカニズムについて研究。



■研究員 岩本理恵

英語教育の学士号取得後、テキサス工科大学大学院にて応用言語学修士を取得（応用言語学修士：Languages & Cultures Applied linguistics）

資格・スキル：

- ・TOEIC990 点
- ・VERSANT65 点
- ・英検 1 級
- ・Certificate in Teaching English in International Context



【TORAIZ（トライズ）について】 <https://toraiz.jp/>

学習デザイン理論「インストラクショナルデザイン」に基づき、ゴールから逆算した学習設計と個別指導により 1 年間でグローバルビジネスに必要な英語を話す力＝VERSANT（※1）47 点相当を身につける英語コーチング・プログラム。高い英語力（※2）を持った専属コンサルタントによる日々の学習サポートと、専属のネイティブコーチによる週 3 回の英会話レッスンを行います。

2015 年の開校以来約 6,000 名が当社のプログラムを受講。受講生満足度 98.2%（※3）、継続率 91.7%（※4）という実績を持ちます。2021 年より英語上級者を対象とした 3 ヶ月間の短期集中新コース「TORAIZ ビジネス上級プログラム」「TORAIZ 発音クリニック」「TORAIZ 国際学会プレゼンコース」「TORAIZ 実践ファシリテーションコース」「TORAIZ 初級コンプリートメソッド」が誕生。世界で活躍するトップアスリートの英語学習もサポートしています。

※1：イギリスの教育大手ピアソン社が全世界向けに販売している英語のスピーキングテスト。20 点～80 点で評価され、日本人の平均は 38 点（2018 ピアソン調べ）。

※2：コンサルタントの各種英語テスト平均スコア：VERSANT 64.9 点、TOEIC® L&R TEST 937 点（2021 年 9 月時点）

※3：当社お客様満足度調査（2021 年 10 月実施）

※4：2018 年 7 月～2021 年 1 月に受講開始した方（受講開始 1 ヶ月以内での全額返金者除く）の内、途中退会していない受講生の割合。

【会社概要】

トライオン株式会社 <https://tryon.co.jp/>

三菱地所、ソフトバンクを経て、代表取締役社長の三木雄信が 2006 年 12 月に設立。ソフトバンク時代に孫正義社長（当時）の海外出張に同行して英語が全く話せない、聞き取れない経験をしたことから、英語学習を開始。1 年で交渉で負けない英語力を身に着けた経験をもつ。「学ぶことを通じて人と組織の可能性を拓く」を経営理念として創業より一貫して「教育」を軸にした事業を提供。インターネットを通じて時間や場所にとらわれずに、多くの人が様々な学習コンテンツに出会える場所を提供することを目的に、日本最大級の通信講座「脳内カレッジ」を運営。

2015 年より、ビジネスレベルで通用する英語を 1 年でマスターする英語コーチングスクール「TORAIZ（トライズ）」を開始。日本の英語教育を抜本的に変え、グローバルな活躍ができる人材の育成を目指している。

＜ご取材など、本件に関する報道関係のお問い合わせ先＞

トライオン株式会社 コミュニケーション室

〒106-0032 東京都港区六本木 4-8-7 六本木三河台ビル 6F(受付 5F)

TEL：03-6257-1834／E-mail: press@tryon.co.jp